



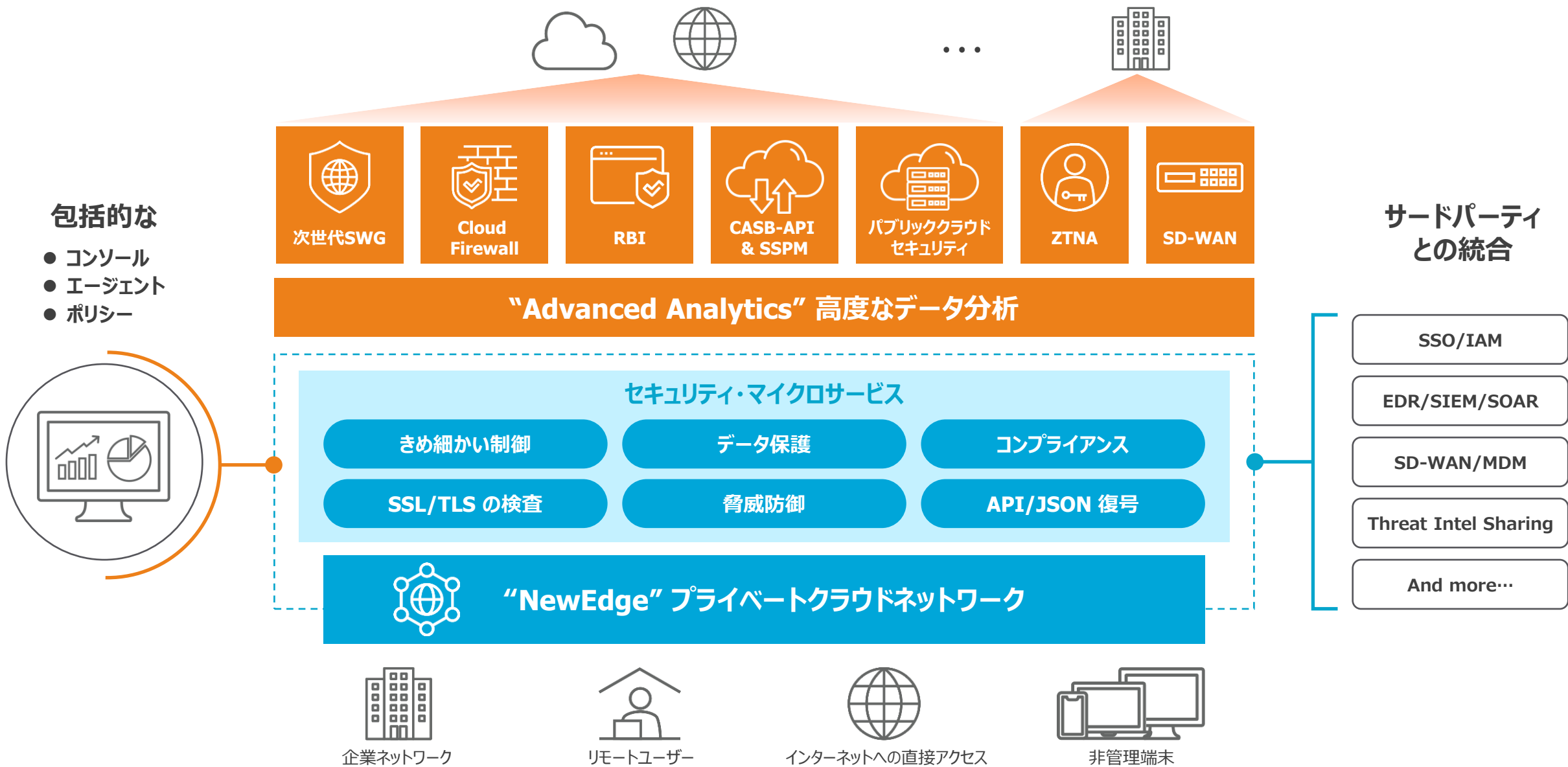
SASE製品の最前線：Netskopeのご紹介

東京エレクトロン デバイス株式会社

2024年9月20日

CN BU営業本部

藤方楓

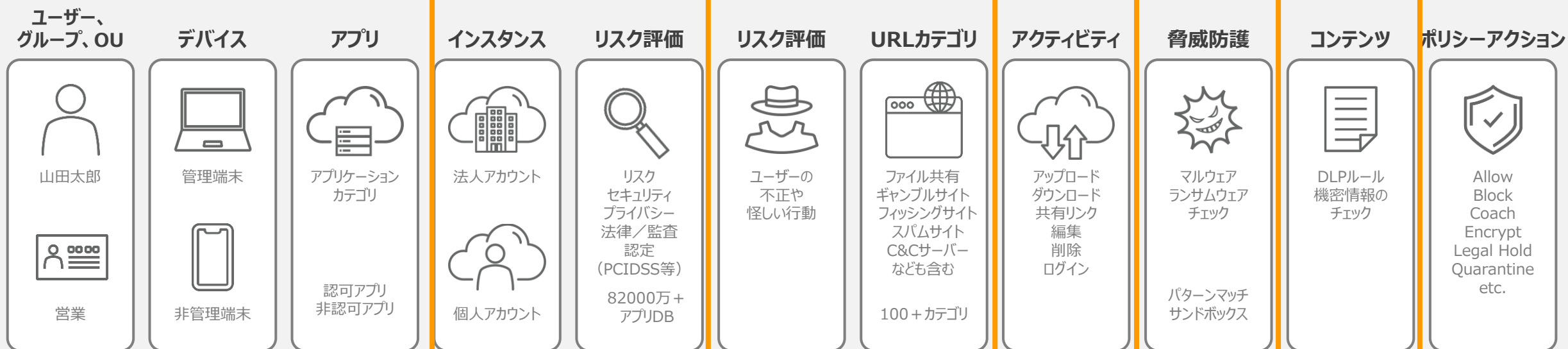


包括的な

- コンソール
- エージェント
- ポリシー



さらに多くのアプリの可視化やきめ細やかな制御が可能に

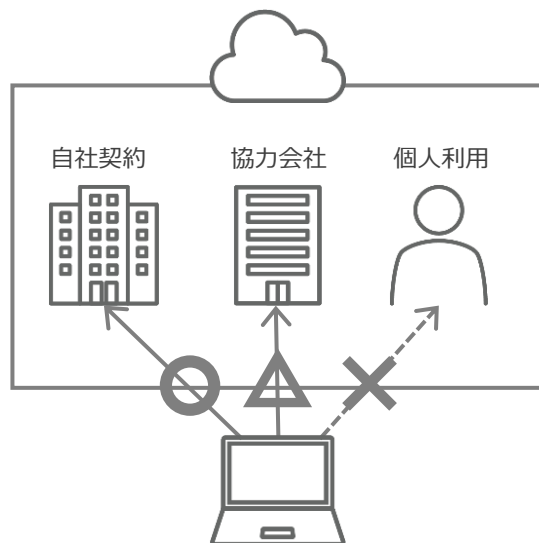


利用イメージ

- 法人インスタンス以外のTeamsを使用し、ファイルをアップロード → DLPチェックで個人情報や機密情報があればコーチング
- 法人インスタンスのTeamsを使用し、ファイルのアップロード → マルウェア・脅威をチェック
- 法人インスタンスのTeamsを使用し、モバイル端末でファイルをダウンロード → 読み取り専用モード
- ギャンブルサイトを閲覧 → サイトをブロックし、利用規定アラートを表示しユーザーを指導

こんな時

「同じクラウドサービスでも、
自社契約・協力会社・個人利用と
インスタンス・テナントごとに制御したい」



Netskopeなら

インスタンス識別やドメイン識別により柔軟な制御が可能

インスタンス識別

自社インスタンス

Application: Google Drive
Instance Name: Enterprise Inc.
Instance Tag: Company
Instance ID: enterprise.com

個人インスタンス

Application: Google Drive
Instance Name: Personal
Instance Tag: Personal
Instance ID: gmail.com

- 各アプリ独自の内容を解析し識別
- インスタンスをタグ付け

ログインドメイン識別

name@enterprise.com

ログイン

- クラウドサービスにログインする時のE-mailのドメイン部を識別

SaaS提供のテナント制限

New Key-Value Pair

APPLICATION

Microsoft Office 365 Account ▼

KEY

Permitted Tenant List ▼

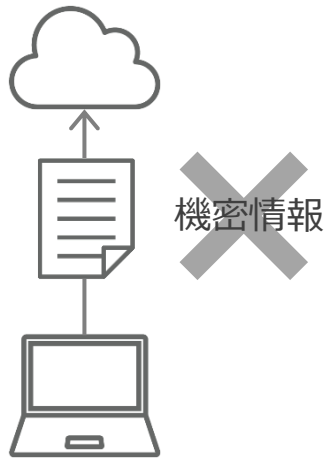
VALUE

enterprise.com ▼

- 独自HTTPヘッダによるテナント制御
- O365などアプリ独自機能

こんな時

「クラウドストレージを使わせたいが、
重要データや機密情報は
アップロードさせたくない」



Netskopeなら

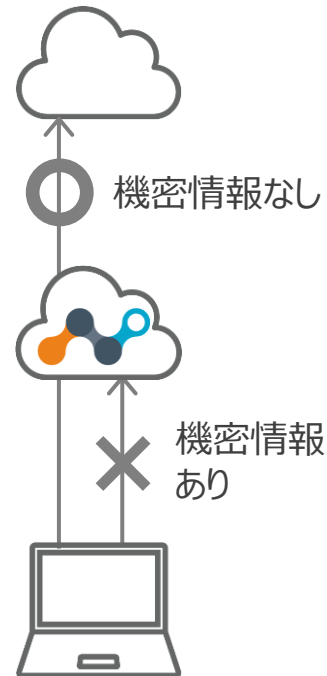
重要データかどうかを検知し、制御することが可能

日本のローカリゼーションにも対応

- 日本語文字コード（UTF-8、Shift-JIS）対応
- マイナンバー、パスポート番号、運転免許証番号、住所、クレジットカード番号などの事前定義識別子

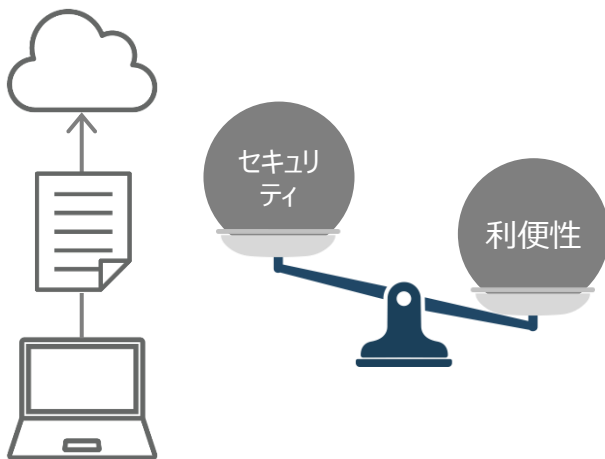
検知方法例

- ✓ 3,500以上の事前定義識別子
- ✓ カスタムキーワード（社外秘、Confidentialなど）
- ✓ Fingerprinting（フォーマットを覚え込ませ、それに対して何%近似したら検知）
- ✓ Exact Match（完全に一致したら検知）
- ✓ OCR検知

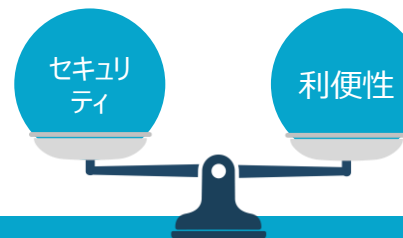


こんな時

「ミスや故意による
アップロードなどを制御したい」



Netskopeなら



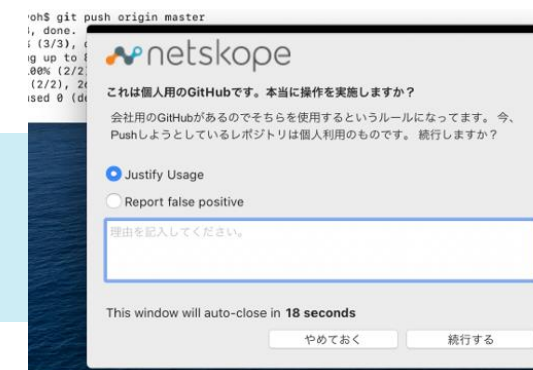
セキュリティと利便性を両立する柔軟な制御

ユーザーへアラート 禁止イメージ



個人用BoxやGoogleドライブの利用は停止
(会社契約のものは操作可能)

ユーザーへアラート 警告イメージ



個人用GitHubへのPush時、ユーザーに通知
(会社契約のものへは通知なくPush可能)

こんな時

ユーザーが利用する
全てのクラウドサービスに関して
セキュリティリスクを判断し、管理するのは
現実的に不可能



Netskopeなら

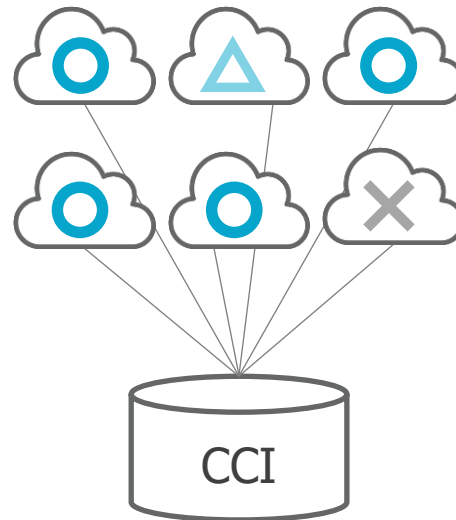
CCI

Cloud
Confidence
Index

が利用可能

クラウドサービスの正確で迅速なリスク把握に寄与

- 82,000以上のクラウドサービス・アプリのデータベース
- CSA（クラウドセキュリティアライアンス）の評価基準に則って評価しデータベース化



評価例

- ✓ データセンターの安全性
(データセンターが取得している認定基準)
- ✓ アクセス制御機能の有無
(SSO/AD連携やマルチファクタ認証が可能か)
- ✓ プライバシー情報の扱いを評価
(ユーザーの個人情報を第三者と共有していないか)



データ専用DC

- 日本では東京に加え大阪にも
- 約70の地域で自社インフラDCを展開し、パブリッククラウドの予測できないパフォーマンスに依存しない
- 仮想PoPやパブリッククラウドを使用していない
- 全てのPoPを利用可能
- 全てのPoPでMS・Googleとピアリング

パフォーマンスをさらに向上させるためDCを続々と新規追加

出典 : <https://www.netskope.com/press-releases/netskope-newedge-most-well-connected-network-for-cloud-data-security>

稼働のSLA

Five 9s 

99.999%

年間約5分に相当

※ China Eliteは99.99%、
China Premiumは99.9%

レイテンシー SLAs

NewEdge DC内での通信処理

HTTP復号化無し通信のラウンドトリップタイム


10msec以下  業界最高

HTTP復号化有り通信のラウンドトリップタイム

50msec以下  業界最高

既知マルウェアの検知率

既知マルウェア（ウイルス含む）検知率

100%  業界最高

業界をリードする高いSLAでサービスを提供



Netskopeデモ